

第 19 回理事会・第 7 回臨時社員総会議決

平成 31 年度

事業計画書

平成 31 年 4 月 1 日から
令和 2 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 新化学技術推進協会

平成 31 年度事業計画書

「基本方針」

新たな化学技術の開発推進によりイノベーションを創出し、我が国の諸産業の発展ならびに国際競争力強化とプレゼンスの向上を図り、社会の持続的発展と経済の健全な成長に寄与することを目指す。

この目的を達成するために、グリーン・サステイナブル ケミストリー(GSC)を基盤とし、以下の4項目を柱として、長期的展望をもって継続的かつ一貫性のある活動を、国や業界の枠を超えて推進する。

- ① 化学技術戦略の立案と社会への発信および政策への提言
- ② 化学技術に関する交流・連携の推進と情報の発信
- ③ GSC の推進および普及・啓発
- ④ 若手研究者への研究支援と将来の化学イノベーションを担う人材育成

「平成 31 年度事業方針」

基本方針に基づき、我が国の化学産業を取り巻く環境変化・課題を適切にとらえつつ、以下の具体的活動を積極的に推進する。

- ① 化学技術戦略の立案と社会への発信および政策への提言
 - ・戦略提言活動を着実に推進して化学技術戦略を策定し、国や化学産業等に向けて発信する。
 - ・戦略提言活動のアウトプットも活用し、新たなプロジェクト提案を進める。
 - ・知的財産に関する調査を実施するとともに、幅広い議論を推進する。
- ② 化学技術に関する交流・連携の推進と情報の発信
 - ・我が国化学産業の国際競争力強化に資する産学官や異業種間の交流・連携の場として、最先端の化学技術シーズやニーズ等の動向を捉えた講演会・技術セミナー・交流会等をタイムリーに企画・実施する。
 - ・ありたい未来社会に必要な新たな技術について議論を深める。
 - ・海外のイノベーション推進機関との連携強化・情報交換を継続し、協会活動の国際化を推進する。
 - ・化学産業の社会への貢献および協会活動の成果を広く社会に発信する広報活動と会員サービスの充実を図る。
- ③ GSC の推進および普及・啓発

- ・ GSC-7 国際シンポジウムで発信された「東京宣言 2015」と、新たな広がりを示した「GSC 活動の指針」に沿って、SDGs への貢献も視野に入れた GSC の推進と普及・啓発を行う。

④ 若手研究者への研究支援と将来の化学イノベーションを担う人材育成

- ・ 新化学技術研究奨励賞のさらなる普及とともに、アカデミアの若手研究者と化学産業との連携を図る。
- ・ 従来から実施してきた大学・大学院対象のキャリアパスガイダンス等の活動を継続するとともに、将来の化学イノベーション人材の育成に係る課題と取り組みについて議論を深める。

「事業実施内容」

<公益事業>

1. 新化学技術に関するメッセージの発信、テーマの発掘と調査研究・普及啓発、人材育成等に関する事業（公 1）

(1) 新たな化学技術に関するメッセージの発信（公 1-①）

化学技術の最新動向など新化学技術に関するメッセージを広く社会に情報発信するため、シンポジウムや特別フォーラムなどを開催する。シンポジウムについては「第 8 回 JACI/GSC シンポジウム」を 6 月に東京で開催する。特別フォーラムについては、イノベーション創出のヒントとなる様々なテーマで開催する。また、ニュースレター、ホームページ等を活用した広報活動を通じて、化学産業からのメッセージを社会に発信する。さらに、海外のイノベーション推進機関との連携強化・情報交換を推進し、協会活動の国際化につなげる。

（企画運営会議 他）

(2) 新化学技術に関する調査研究および普及啓発の推進（公 1-②）

「先端化学・材料」「ライフサイエンス」「電子情報」「エネルギー・資源」「環境」の 5 領域を中心に、最先端の化学技術シーズやニーズ等の動向を捉えた講演会・技術セミナーを企画・実施する。また、産学官や異業種間の交流会をタイムリーに企画・実施する。平成 28 年度より開始した、ありがたい未来社会に必要な新たな技術についての議論を深め、具体的な提案を目指す。さらに、平成 29 年度より新たに開始した「化学産業のための情報科学講座シリーズ」を発展させ、化学分野におけるデジタル人材の育成講座を企画・実施する。

（企画運営会議・フロンティア連携委員会・技術部会）

2. 他団体等との協働により推進する産学官連携事業およびアカデミアを対象とした研究助

成事業（公2）

（1）GSCの推進および普及・啓発（公2-①）

GSC-7国際シンポジウムで発信された「東京宣言 2015」と、新たな広がりを示した「GSC活動の指針」に沿って、SDGsへの貢献も視野に入れたグリーン・サステイナブルケミストリー(GSC:人と環境にやさしく、持続可能な社会を支える化学)の推進と普及・啓発を行う。具体的には「第8回JACI/GSCシンポジウム」を主催するとともに、協会ホームページ、ニュースレター等でGSCについてのメッセージや情報を発信する。また、GSCの推進に貢献のあった個人・団体を顕彰するGSC賞各賞の運営を実施する。さらに、GSC関連の研究開発テーマを取り上げて、基礎研究から技術の社会実装までを対象とした産業界と学協会の連携による情報交換の場を創出する。

（GSCN会議・GSCN運営委員会）

（2）産学官連携による人材育成支援（公2-②）

従来から実施してきた大学・大学院対象のキャリアパスガイダンス等の活動を継続する。また、アカデミアならびに他団体(日本化学工業協会、日本化学会等)との連携により、将来の化学イノベーション人材の育成に関わる課題と取り組みについて産と学の意見交換を進める。

（企画運営会議・戦略委員会・人材育成部会）

（3）関連団体との協働（公2-③）

日本化学工業協会、日本化学会、化学工学会と協働して「夢・化学-21」の活動を推進するとともに、学協会等が実施する新化学技術の推進のためのイベント等に協力・連携する。

（企画運営会議・戦略委員会・フロンティア連携委員会）

（4）研究奨励賞の授与（公2-④）

40歳未満のアカデミア研究者への研究助成を中心とする新化学技術研究奨励賞について、さらなる普及を図る。また、研究奨励賞受賞者発表会等を開催し、アカデミアの若手研究者と化学産業との幅広い連携を図る。

（企画運営会議・フロンティア連携委員会・技術部会）

3. 新化学技術に関わる戦略の立案および社会・国レベルの課題に関する政策提言を行う事業（公3）

戦略提言活動を着実に推進して化学技術戦略を策定し、国や化学産業等に向けて発信する。

（企画運営会議・戦略委員会・戦略提言部会）

<その他の事業>

4. 新化学技術の振興に向けた会員間の協働と連携による事業（他 1）

（1） トップセミナーの開催（他 1-①）

会員企業のトップ経営層の交流と意見交換の場としてトップセミナーを開催し、タイムリーな話題提供を行う。

（企画運営会議）

（2） 新化学技術に関する戦略的研究開発プロジェクトの企画・立案と提案（他 1-②）

環境変化や国の戦略を踏まえ、技術シーズ、社会ニーズ両面から、将来の化学産業の発展に貢献する国プロ提案を目指した活動を、プロジェクト部会が主体となり、戦略提言部会やフロンティア連携委員会との連携を深めながら推進する。そのために、有望なテーマ候補について、可能性検討のためのワーキンググループ、国プロ化本格検討のための研究会を経て、具体的な国プロ提案を目指す。

（企画運営会議・戦略委員会・プロジェクト部会・戦略提言部会）

（3） 化学分野の知的財産に関する情報の共有および議論（他 1-③）

化学産業全般に共通性の高い知的財産事項に関する調査、研究、および幅広い議論を引き続き進める。また、知的財産に関する化学産業の意見を、社会、行政に積極的に発信していく。

（企画運営会議・戦略委員会・知的財産部会）